

プロから選ばれ全国21位

南三陸「感謝」テーマの接客評価 ホテル観洋

業界紙・旅行新聞の今年の「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」で、南三陸町志津川のホテル観洋が総合21位になった。県内で30位以内に入ったのは同ホテルだけで、感謝をテーマに従業員一丸となった接客が評価され、前年に比べて4ランクアップした。併せて、同ホテルの伊藤文夫さん(74)が「おもてなしの達人」に選ばれた。

「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」は毎年、料理や施設、企画の各部門で優れていると思われるホテル・旅館を、旅行会社の担当者による投票で決めている。43回目の今回は、全国に約5万件あるホテル・旅館から100件が選ばれた。



阿部おかみ恵と、「おもてなしの達人」の伊藤さん

「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」は毎年、料理や施設、企画の各部門で優れていると思われるホテル・旅館を、旅行会社の担当者による投票で決めている。43回目の今回は、全国に約5万件あるホテル・旅館から100件が選ばれた。

「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」で開かれた。ホテル観洋は施設21位、料理23位、企画25位で総合21位。16年がテーマに観光客のおもてなしを行った。東日

全国の旅行会社など1万6600事業所からの投票結果を踏まえて、後援団体である全国旅行業協会や日本旅

本大震災の教訓を伝える「語り部バス」の運行、カキやアワビ、ホヤ、タコなど地元海産物をさんだんに使った料理、気軽に参加できる星空観察会なども評価された。

同ホテルの阿部憲子おかみは「町の復興は多くの観光客やボランティアの支援があったからこそ」と話している。

個人の部では、丁寧な接客などを評価する「おもてなしの達人」に同ホテル渉外部長の伊藤さんが選ばれた。全国で10人。伊藤さんは入社42年の大ベテランで、優しい笑顔や丁

丁寧な接客から利用客に愛賞はともありがた。ホテルの語り部は8人おり、みんなで情報共有してきたので、みんなで頂いたものと思っている」と話している。

2018年 2月 13日 (火) 三陸新報